

中間市第5次総合計画（素案）に関する意見・質問票に対する回答（第4回審議会）

No		頁	質問・意見	回答	修正前	修正後
1	パブ コメ	11	<p>将来像</p> <p>将来像として「夢のあるまち なかま」とありますが、夢を見ることは自由であり、誰にでもできるものなので、政策を実践していくことにより「夢のかなうまち なかま」「夢をかなえるまち なかま」を目指すとする方が市の将来像のビジョンとしてはインパクトがあると考えますがいかがでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘いただいたとおり「夢のかなうまち」「夢をかなえるまち」のような表現の方が、夢を見るだけで終わってしまうという印象にならず大きな可能性を秘めているというポジティブな印象を持っていただけると考えられますので、「夢がかなうまち なかま」「夢をかなえるまち なかま」にすることについて、審議会に諮ってまいります。</p>	No.4 参照	No.4 参照
2	パブ コメ	23	<p>施策5「教育」</p> <p>教育は未来への投資であり、中間市があり続けるためにも重要な要素であると考えます。教育に関することについては文書量が多く、市民の重大な関心事である学校再編の記載もあり、中間市がそれだけ教育に力を注いでいくという強いメッセージではないかと思えます。また、学校再編という大きな課題がある中、子供たちにより良い学習環境を提供すべく中間市に関わる皆さんが一丸となって取り組んでいくことが大事だと思います。こうした中、教育長不在という異例の事態になってしまったことには大いに疑問を感じます。これでは学校再編に向けた取り組みにも遅れが出てしまうのではないのでしょうか。市と市議会がそれぞれの立場で中間市民のために役割を果たすのが本来あるべき姿だと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。多くのみなさんが学校再編について非常に高い関心をお持ちであることは認識しておりますことから、本計画にも教育に関する事項として学校施設の再編に関し触れているところであり、中間市の未来を拓く人材を育てるための取組を鋭意進めてまいります。</p>	—	—
3	パブ コメ	23	<p>施策5「教育」</p> <p>全国的な問題として少子・高齢化社会が見込まれていますが、中間市がこれから生き残っていくためには、教育に特化するべきだと思います。現在、学校の再編について色々な話を耳にすることがありますが、魅力ある学校って何だろうと考えた結果、「学力が高い」「安心して通える環境」だと</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。ご意見にありますように高い学力が一つの魅力となり、これを契機とする移住も十分に考えられます。学力の向上を図ることも重要ですし、豊かな心を育成することも重要です。将来を担う子どもたちが安心して学び生活できるよう、ソフト面とハード面から教育環境を構築してまいります。</p>	—	—

		<p>私は思いました。</p> <p>中間市の学力が全国的に見てどのくらいの水準かわかりませんが、近隣にはないほどの学力になれば高い教育を受けさせたい親たちが自然と住むようになり、若い世代の人たちで中間市もにぎわうのではないのでしょうか。</p> <p>学校再編に関するチラシを見る機会がありましたが、何が真実なのか正直わかりません。この総合計画で教育に関する取り組みが色々と書かれていますので、将来の子どもたちにとって最適な教育環境を整えてあげられるようなものとなることを期待しています。</p>			
4	関係者の意見	<p>11</p> <p>将来像</p> <p>文章を以下のように修正してはいかがでしょうか。</p> <p>(原文)</p> <p>1977(昭和52)年に制定された市民憲章は、市民みんなで約束ごとを作り、みんなでの決まりを守り、「豊かなまちづくり」を進めていこうというものです。「豊かなまちづくり」には「住みたくなるまちづくり」の意味が込められており、その指標とされるべきものとして、心に潤いを持たせ、豊かな心を育てていくための手がかりを見つけてくれるものとされています。</p> <p>この「住みたくなるまちづくり」を目指すには、中間市に「夢」が持てるまち、「夢」が詰まったまちであるべきだと考えています。</p> <p>中間市民が願う市民憲章を基本に、<u>将来像の実現に向け、自然環境や立地を活かしながら、温故知新を旨として、経済や社会の変化に即し、限られた行政資源を有効活用しつつ、将来に亘って持続可能な「夢のあるまちなかま」</u>を目指したまちづくりを進めます。</p> <p>↓</p>	<p>右記のとおり修正したいと考えます。</p>	<p><b>豊かな水源とともに織りなされた歴史と文化のもと市民が希望を抱く「<u>夢のあるまち なかま</u>」</b> (中略)</p> <p>1977(昭和52)年に制定された市民憲章は、市民みんなで約束ごとを作り、みんなでの決まりを守り、「豊かなまちづくり」を進めていこうというものです。「豊かなまちづくり」には「住みたくなるまちづくり」の意味が込められており、その指標とされるべきものとして、心に潤いを持たせ、豊かな心を育てていくための手がかりを見つけてくれるものとされています。</p> <p>この「住みたくなるまちづくり」を目指すには、<u>中間市に「夢」が持てるまち、「夢」が詰まったまち</u>であるべきだと考えています。</p> <p>中間市民が願う市民憲章を基本に、<u>将来像の実現に向け、自然環境や立地を活かしながら、温故知新を旨として、経済や社会の変化に即し、限られた行政資源を有効活用しつつ、将来に亘って持続可能な「夢のあるまちなかま」</u>を目指したまちづくりを進めます。</p>	<p><b>豊かな水源とともに織りなされた歴史と文化のもと市民が希望を抱く「<u>夢がかなうまち なかま</u>」</b> (中略)</p> <p>1977(昭和52)年に制定された市民憲章は、市民みんなで約束ごとを作り、みんなでの決まりを守り、「豊かなまちづくり」を進めていこうというものです。「豊かなまちづくり」には「住みたくなるまちづくり」の意味が込められており、その指標とされるべきものとして、心に潤いを持たせ、豊かな心を育てていくための手がかりを見つけてくれるものとされています。</p> <p>この「住みたくなるまちづくり」を目指すには、<u>中間市は「夢」がかなうまち、「夢」をつかめるまち</u>であるべきだと考えています。</p> <p>中間市民が願う市民憲章を基本に、<u>豊かな自然環境や立地を活かしながら、温故知新を旨として、限られた行政資源を有効活用しつつ経済や社会の変化に対応していく、将来に亘って持続可能な「夢がかなうまち なかま」</u>を目指したまちづくりを進めます。</p>

		<p>(修正案)</p> <p>1977(昭和52)年に制定された市民憲章は、市民みんなで約束ごとを作り、みんなでこの決まりを守り、「豊かなまちづくり」を進めていこうというものです。「豊かなまちづくり」には「住みたくなるまちづくり」の意味が込められています。</p> <p>この「住みたくなるまちづくり」を目指すには、中間市に「夢」が持てるまち、「夢」が詰まったまちであるべきだと考えています。</p> <p>中間市民が願う市民憲章を基本に、<u>豊かな自然環境や立地を活かしながら、温故知新を旨として、限られた行政資源を有効活用しながら経済や社会の変化に対応していく、将来に亘って持続可能な「夢のあるまちなかま」</u>を目指したまちづくりを進めます。</p>			
5	関係者の意見	<p>政策3「産業」</p> <p>文章を以下のように修正してはいかがでしょうか。</p> <p>(原文)</p> <p>地域活性化に向け、雇用の安定と拡大を目指す上で、魅力ある多様な就業の機会を創出することは重要です。そのためには、<u>市内で市民の満足度が高い商業の集積や、若者が定住できる就業の場の確保に向けた</u>企業の誘致、既存企業定着の支援、創業の支援、付加価値の高い農業製品の生産による安定した就農基盤の整備など、各種産業の振興を図る必要があります。</p> <p>↓</p> <p>(修正案)</p> <p>地域活性化に向け、雇用の安定と拡大を目指す上で、魅力ある多様な就業の機会を創出することは重要です。そのためには、<u>就業の場の確保や商業集積など、職住が近接し、生活利便性の高い環境をつくっていくことが重要です。これに向けて、</u>企業の誘致、既存企業定着の支援、創業の支援、付加価値の高い農業製品の生産による安定した就農基盤</p>	<p>右記のとおり修正したいと考えます。</p>	<p>地域活性化に向け、雇用の安定と拡大を目指す上で、魅力ある多様な就業の機会を創出することは重要です。そのためには、<u>市内で市民の満足度が高い商業の集積や、若者が定住できる就業の場の確保に向けた</u>企業の誘致、既存企業定着の支援、創業の支援、付加価値の高い農業製品の生産による安定した就農基盤の整備など、各種産業の振興を図る必要があります。</p>	<p>地域活性化に向け、雇用の安定と拡大を目指す上で、魅力ある多様な就業の機会を創出することは重要です。そのためには、<u>就業の場の確保や商業集積など、職住が近接し、生活利便性の高い環境を整えていくことが重要です。これに向けて、</u>企業の誘致、既存企業定着の支援、創業の支援、付加価値の高い農業製品の生産による安定した就農基盤の整備など、各種産業の振興を図る必要があります。</p>

		の整備など、各種産業の振興を図る必要があります。			
6	関係者の意見	<p>政策4「保健福祉」</p> <p>文章を以下のように修正してはいかがでしょうか。</p> <p>(原文)</p> <p>本格的な人口減少社会が到来し、急速な少子・高齢化社会へと変化する一方で、核家族化の進展、地域のつながりの希薄化が指摘され、<u>多様な子育て支援サービスの充実に対する</u>諸課題は、明確に顕在化してきています。一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指して、子育て支援策の充実・強化を図る必要があります。</p> <p>また、高齢化の進行に伴い介護需要が高まること<u>が想定されており</u>、市民の健康増進に関する意識を高め、運動や食生活などの生活習慣の改善、健診などによる早期発見・早期治療を促し、介護予防事業の充実を図るなど、健康増進と医療費の適正化に努める必要があります。</p> <p>↓</p> <p>(修正案)</p> <p>本格的な人口減少社会が到来し、急速な少子・高齢化社会へと変化する一方で、核家族化の進展や地域のつながりの希薄化が指摘され、<u>子育てや高齢者福祉に関する</u>諸課題は、明確に顕在化してきています。</p> <p><u>このため</u>、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指して、子育て支援策の充実・強化を図る必要があります。</p> <p>また、高齢化の進行に伴い<u>医療や介護の</u>需要が高まること<u>が想定されていることから</u>、市民の健康増進に関する意識を高め、運動や食生活などの生活習慣の改善、健診などによる<u>病の</u>早期発見・早期治療を促し、介護予防事業の充実を図るなど、健康増進と医療費の適正化に努める必要があります。</p>	右記のとおり修正したいと考えます。	<p>本格的な人口減少社会が到来し、急速な少子・高齢化社会へと変化する一方で、核家族化の進展、地域のつながりの希薄化が指摘され、<u>多様な子育て支援サービスの充実に対する</u>諸課題は、明確に顕在化してきています。一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指して、子育て支援策の充実・強化を図る必要があります。</p> <p>また、高齢化の進行に伴い介護需要が高まること<u>が想定されており</u>、市民の健康増進に関する意識を高め、運動や食生活などの生活習慣の改善、健診などによる早期発見・早期治療を促し、介護予防事業の充実を図るなど、健康増進と医療費の適正化に努める必要があります。</p>	<p>本格的な人口減少社会が到来し、急速な少子・高齢化社会へと変化する一方で、核家族化の進展や地域のつながりの希薄化が指摘され、<u>子育てや高齢者福祉に関する</u>諸課題は、明確に顕在化してきています。<u>このため</u>、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指して、子育て支援策の充実・強化を図る必要があります。</p> <p>また、高齢化の進行に伴い<u>医療や介護の</u>需要が高まること<u>が想定されていることから</u>、市民の健康増進に関する意識を高め、運動や食生活などの生活習慣の改善、健診などによる<u>病の</u>早期発見・早期治療を促し、介護予防事業の充実を図るなど、健康増進と医療費の適正化に努める必要があります。</p>

7	関係者の意見	<p>政策5「教育」</p> <p>文章を以下のように修正してはいかがでしょうか。</p> <p>(原文)</p> <p>社会構造が大きく変化し、将来を予測することが困難な時代を迎え、市民には、自分の良さや可能性を認識するとともにあらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら<u>さまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることが求められています。</u></p> <p>↓</p> <p>(修正案)</p> <p>社会構造が大きく変化し、将来を予測することが困難な時代を迎え、市民には、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、<u>持続可能な社会の創り手となって豊かな人生を共に歩むことが望まれます。</u></p>	<p>右記のとおり修正したいと考えます。</p>	<p>社会構造が大きく変化し、将来を予測することが困難な時代を迎え、市民には、自分の良さや可能性を認識するとともにあらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながらさまざまな社会的変化を乗り越え、<u>豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることが求められています。</u></p>	<p>社会構造が大きく変化し、将来を予測することが困難な時代を迎え、市民には、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越え、<u>持続可能な社会の創り手となって豊かな人生を切り拓き共に歩むことが望まれます。</u></p>
8	関係者の意見	<p>政策6「安全安心」</p> <p>文章を以下のように修正してはいかがでしょうか。</p> <p>(原文)</p> <p>6月から9月ごろまでの梅雨期や台風時期は災害に備え、関係機関と協力し、警戒に<u>当たっています。一方で、近年は、突発的かつ局地的な集中豪雨が頻発するようになり、その対応が求められています。</u></p> <p>(中略)</p> <p>また、少子高齢化、核家族化の進行に伴い、<u>空き家の増加や高齢者を狙った犯罪の増加、高齢者が関わる交通事故への対策も重要となっています。</u></p> <p>↓</p> <p>(修正案)</p> <p><u>気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然</u></p>	<p>右記のとおり修正したいと考えます。</p>	<p>6月から9月ごろまでの梅雨期や台風時期は災害に備え、関係機関と協力し、警戒に<u>当たっています。一方で、近年は、突発的かつ局地的な集中豪雨が頻発するようになり、その対応が求められています。</u></p> <p>(中略)</p> <p>また、少子高齢化、核家族化の進行に伴い、<u>空き家の増加や高齢者を狙った犯罪の増加、高齢者が関わる交通事故への対策も重要となっています。</u></p>	<p><u>気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然災害等から市民の命と暮らしを守るためには、防災・減災の取り組みをさらに強化する必要があります。</u></p> <p><u>現在、6月から9月ごろまでの梅雨期や台風時期は災害に備え、関係機関と協力し、警戒に当たっていますが、近年は、突発的かつ局地的な集中豪雨が頻発するようになり、より迅速な対応が求められています。</u></p> <p>(中略)</p> <p>また、少子高齢化、核家族化の進行に伴い、<u>管理不全となる空き家、高齢者を狙った犯罪、高齢者が関わる交通事故等、安全・安心に関する懸念事項が増加傾向にあり、これらへの対策も重要となっています。</u></p>

		<p>災害等から市民の命と暮らしを守るためには、<u>防災・減災の取り組みをさらに強化する必要があります。</u></p> <p><u>現在、6月から9月ごろまでの梅雨期や台風時期は災害に備え、関係機関と協力し、警戒に当たっているところですが、近年は、突発的かつ局地的な集中豪雨が頻発するようになり、より迅速な対応が求められています。</u></p> <p>(中略)</p> <p>また、少子高齢化、核家族化の進行に伴い、<u>管理不全となる空き家、高齢者を狙った犯罪、高齢者が関わる交通事故等、安全・安心に関する懸念事項が増加傾向にあり、これらへの対策も重要となっています。</u></p>			
9	関係者の意見	<p>政策7「行政経営」</p> <p>文章を以下のように修正してはいかがでしょうか。</p> <p>(原文)</p> <p>本市が抱える行政経営上の課題として、<u>再任用職員・会計年度職員の増加等による</u>市政運営体制の脆弱化、財政構造改革の遅延、公共施設の老朽化、新型コロナウイルスの感染拡大による影響への対策等が挙げられます。</p> <p>また、<u>多様化、高度化している今日の市民ニーズにきめ細やかな対応ができるよう、多様な主体が担い手として積極的に参加し、力を合わせてまちづくりに取り組むことが重要となります。</u></p> <p><u>さらに、人口減少・少子高齢社会にあっても地域を活性化し経済を持続可能なものとするためには、連携中枢都市圏構想の下で広域連携を推進することが重要であり、北九州市を中心に近隣の市町が連携する北九州都市圏域の構成自治体である本市としましては、産業特性や地理的特性、生活圏などを考慮した上で地域のさらなる活性化に繋げていくことが必要となります。</u></p> <p><u>これらのことから、行政運営のさまざまな効率</u></p>	<p>右記のとおり修正したいと考えます。</p>	<p>本市が抱える行政経営上の課題として、<u>再任用職員・会計年度職員の増加等による</u>市政運営体制の脆弱化、財政構造改革の遅延、公共施設の老朽化、新型コロナウイルスの感染拡大による影響への対策等が挙げられます。</p> <p>(中略)</p> <p>また、老朽化が進む公共施設について計画的な長寿命化や統廃合などを十分に検討した上で推し進めていく必要があります。</p> <p><u>上記課題を踏まえた「自立・協働・効率」の三つの視点に基づく施策の実施による「将来にわたって持続可能なまち」を目指したまちづくりを推進することで、各政策の推進や各政策間の調整を図ります。</u></p>	<p>本市が抱える行政経営上の課題として、市政運営体制の脆弱化、財政構造改革の遅延、公共施設の老朽化、新型コロナウイルスの感染拡大による影響への対策等が挙げられます。</p> <p>(中略)</p> <p>また、老朽化が進む公共施設については、<u>限られた予算の中で、適切に維持・管理していくために、</u>計画的な長寿命化や統廃合などを十分に検討した上で推し進めていく必要があります。</p> <p><u>上記課題を踏まえ、「自立・協働・効率」の三つの視点を基本として、各部門間の調整を図りつつ政策を推進することにより「将来にわたって持続可能なまち」の実現を目指します。</u></p>

		<p>化を進め、市民と行政が協働しながら将来にわたって必要な公共サービスが安定的に供給される地域社会を構築する必要があります。</p> <p>また、老朽化が進む公共施設について計画的な長寿命化や統廃合などを十分に検討した上で押し進めていく必要があります。</p> <p><u>上記課題を踏まえた「自立・協働・効率」の三つの視点に基づく施策の実施による「将来にわたって持続可能なまち」を目指したまちづくりを推進することで、各政策の推進や各政策間の調整を図ります。</u></p> <p>↓</p> <p>(修正案)</p> <p>本市が抱える行政経営上の課題として、市政運営体制の脆弱化、財政構造改革の遅延、公共施設の老朽化、新型コロナウイルスの感染拡大による影響への対策等が挙げられます。</p> <p><u>このため、行政運営のさまざまな効率化を進め、市民と行政が協働しながら将来にわたって必要な公共サービスが安定的に供給される地域社会を構築する必要があります。</u></p> <p><u>さらに、人口減少・少子高齢社会にあっても地域を活性化し経済を持続可能なものとするためには、連携中枢都市圏構想の下で広域連携を推進することが重要であり、北九州市を中心に近隣の市町が連携する北九州都市圏域の構成自治体である本市としましては、産業特性や地理的特性、生活圏などを考慮した上で地域のさらなる活性化に繋げていくことが必要となります。</u></p> <p><u>そのためには、多様化、高度化している今日の市民ニーズにきめ細やかな対応ができるよう、多様な主体が担い手として積極的に参加し、力を合わせてまちづくりに取り組むことが重要となります。</u></p> <p>また、老朽化が進む公共施設については、<u>限られた予算の中で、適切に維持・管理していくために、計画的な長寿命化や統廃合などを十分に検討した</u></p>			
--	--	---	--	--	--

		<p>上で押し進めていく必要があります。</p> <p><u>上記課題を踏まえ、「自立・協働・効率」の三つの視点を基本として、各部門間の調整を図りながら一丸となって政策を推進することで「将来にわたって持続可能なまち」の実現を目指します。</u></p>			
10	関係者の意見	<p>全体を通して</p> <p>計画に特色がない。市長の掲げる政策を総合計画の中で打ち出せばよいのではないか。</p>	<p>総合計画は市が向かうべき方向性を指し示すものであり、具体的な事象についてはその下位に立案される実施計画や分野別の個別計画で定めることとしています。計画自体が長期的な視点に立ち、人口減少及び少子高齢化の進行を見据え将来にわたり持続可能な社会構築を目指すことを示しているもので、ご指摘の市長の掲げる政策に関しましては先述の実施計画や個別計画で反映されてくるものとなります。</p>	—	—